

2009 年
(平成 21 年)

世界不況の影響で、ゴム製品生産も、119 万トン、前年比-27.6%とかつてない落ち込みとなった。一方で、世界経済は、各国による大規模な景気刺激政策がとられたことから徐々に回復に転じ、日本経済も春頃を底に、回復を示したが、円高が進み、企業業績、雇用情勢は厳しい状況が続いた。また、新型インフルエンザが世界的に流行した。

本会の主要業務活動等

- 1 月 アセアン諸国の国際標準化体制整備支援のため、ISO/TC 45 国内審議委員会から ACCSQ (アセアン標準化・品質管理諮問委員会) のゴム製品作業グループ会合に参加
- 3 月 I R S G 第 43 回総会 (シンガポール) に、事務局職員を派遣
日本ゴム産業労働組合連合第 4 期労使安全衛生中央研修会に講師を派遣
- 6 月 資材委員会を廃止。資材情報についてホームページを通じて会員企業へ情報提供することおよび事務局主体で資材関係講演会を開催することとした
- 10 月 ISO/TC 45 第 56 回国際会議 (インド・コーチン) に代表 28 名を派遣
ISO/TC 157 第 26 回国際会議 (中国・上海) へ代表を派遣
CO₂削減に関する経済産業省産業構造審議会・環境部会地球環境小委員会合同委員会のフォローアップへの対応
- 11 月 第 1 回資材関係講演会を開催

世の中の動き

- 1 月 米国、オバマ大統領が就任
有効求人倍率が 0.67 倍に悪化
- 3 月 野球の第 2 回 WBC が開催され、日本チームが 2 連覇達成
- 4 月 新型インフルエンザが世界的な流行となり、政府が「新型インフルエンザ」の発生を宣言。5 月に国内で初の感染者 (8 月に初の死者。12 月末までに 138 名が死亡)
- 5 月 裁判員制度が施行 (8 月に第 1 回の裁判員裁判が東京地裁で開廷)
- 9 月 消費者庁設置
- 8 月 衆議院選挙で民主党が勝利 (自由民主党が結党以来の大敗)。16 年ぶりの政権交代となる鳩山由起夫内閣が誕生
- 11 月 政府、緩やかなデフレ宣言
- 12 月 COP15 (ベルギー・コペンハーゲン) 開催。京都議定書以降の温室効果ガス削減について、法的拘束力のある合意に至らず (日本は、鳩山首相が世界各国で取り組むことを前提として、1990 年対比で 2020 年に温室効果ガスを 25%削減することを提案)

景気減速の影響もあり、米国でクライスラー (4 月)、GM (6 月) が相次いで経営破綻

ゴム産業関連事項

日本ゴム輸入協会が中心となって天然ゴムグリーンブックの改定作業を実施
東部工業用ゴム製品卸商業組合、中部工業用ゴム製品卸商業組合、西部工業用ゴム製品卸商業組合がそれぞれ創立 30 周年

参考データ	GDP (名目/暦年)	新ゴム消費量	四輪車生産台数	円相場 (1 米ドルあたり、年間平均)
	474 兆 1,689 億円 前年比-6.1%	1,186.3 千トン 前年比-27.6%	793.5 千台 前年比-31.5%	93.6 円 前年比 9.8 円の円高